

# Graminex 社の”花粉エキス G63”による前立腺炎への知見

横山博美 鈴木直文 西村良己  
(神田医新クリニック)

花粉は次世代の植物の誕生に欠かせないものであり、豊富な栄養分(アミノ酸、ミネラル、ビタミン)を含有しており、未知なる作用を秘めた物質であり、泌尿器(前立腺肥大、前立腺炎)治療において、35年前より花粉製剤は使用されてきた。前立腺炎に伴う不定愁訴の改善には長期間を要する為に、医薬品に代わり長期間服用しても害が無く安心して服用でき、また、症状の改善が見込まれるサプリメントの誕生が望まれている。今回、我々はサプリメントである花粉エキスを前立腺炎の治療に試用し、改善の効果を得たので報告する。

## 【対象と方法】

当クリニックに前立腺炎の治療で通院中の患者13名に服用してもらい、IPSS(国際前立腺症状スコア)のスコアを基に改善度を判定した。

期間は1ヶ月から3ヶ月間とし、花粉エキスはアメリカのオハイオ州にあるGraminex社が、自社の畑で、農薬を使用せず、遺伝子操作をしていないライ麦、とうもろこし、の種を使用して栽培し、その花粉を原料としている。チモシー(日本ではおおあわがえりと言われている)は雑草であるが、若干の花粉は混じることがある。花粉は二重の殻からできており、強い耐酸性と耐熱性(300度でも破壊されない)の為に花粉を食べても消化・吸収ができないが、Graminex社では特殊な技術を駆使してG60(水溶性栄養成分)とGFX(脂質溶解性成分)を別々に抽出した後、20:1の比率で複合化させG63という製品に仕上げ、それを提供してもらった。

1日6錠を朝、夕食後に3錠ずつ服用してもらった。1錠あたり250mgで花粉エキスを62.5mg含有する。(1日量・・・花粉エキスとして375mg)

## 【結果】

13人中2名(1名は服用開始前のPSAの値が上昇していた為中止となり、他の1名は服用前より胃部不快感を訴えガスターを内服していたが症状改善せず中止となった)は知見中止となり、他の1名は服用後のIPSS未記入のため結果判定より除外した。

## Graminex花粉治験・・・前立腺炎

氏名	年齢	経過	IPSS	会陰部痛	勃起・射精困難	排尿時痛	変化
S . K	56	前	25	無	無	無	
		1ヵ月後	24	無	無	無	朝勃が増えた
S . T	73	前	17	無	無	無	
		1ヵ月後	13	無	無	無	
I . Y	74	前	12	無	たまに	たまに	
		PSA で治験中止					因果関係無
O . T	65	前	8				
		3ヵ月後	3				夜間トイレに行かない、排尿障害改善
N . K	57	前	11	無	いつも	無	
		1ヵ月後	11	無	時々	無	夜間頻尿(3～4回)
		2ヵ月後	6	無	無	無	夜間頻尿(2～3回)
		3ヵ月後	9	無	無	無	昼間頻尿、尿に勢いがある
I . T	62	前	10	時々痛い	たまに困難	無	
		1ヵ月後	8	たまに痛い	たまに困難	無	会陰部の痛み少し改善
		3ヵ月後	8	たまに痛い	たまに困難	無	症状特に変わりなし、PSA の下がり具合を見る

M . T	73	前	18	無	無	無	
		1ヵ月後	14	無	無	無	
		3ヵ月後	14	無	無	無	
S . I	68	前	7	無	無	無	
		1ヵ月後	5	無	無	無	排尿障害は全体的に良くなった
S . M	61	前	27				
		1ヵ月後	IPSS 記入無				少し良くなったが、陰部に違和感有
T . M	71	前	17	無	勃起無	無	ガスター(20)併用
		逆流性食道炎、びらん性胃炎(胃カメラ施行)のため中止					因果関係不明
U . T	62	前	7~ 8	無	無	無	
		1ヵ月後	14	たまに痛いたまに困難		無	
M . H	74	前	15	無	無	無	
		1ヵ月後	6	無	無	無	かなり良くなった。
S . T	71	前	24	無	いつも困難	時々痛い	
		1ヵ月後	17	無	時々困難	時々痛い	痛みは良くなっている



### 【結論】

平均年齢 66.1±5.7、I P S S のスコアが下がり改善したのは 10 人中 9 名であり、服用前の I P S S の平均は 15、服用後の I P S S の平均は 11 であった。また、改善した人で会陰部痛、勃起・射精困難、排尿時痛の症状が現れていた患者も諸症状は改善傾向にあった。

### 【考察】

前立腺に炎症が起きた場合、細菌性の場合と非細菌性の場合があるが炎症部分の再形成が必要になってくる。花粉エキスには細胞の修復に必要なアミノ酸やコエンザイムとして働くビタミンやミネラルが豊富に含まれており迅速な修復が可能となる。また、前立腺に必要な亜鉛やセレンも含まれているために前立腺の機能も回復してくれるものと思われる。

### 【安全性】

2 名の中止例があるが、前述のごとく P S A の値が高く他の治療法への変更の為中止となり、また、服用前より胃部不快感がありガスターを内服し症状改善せず、胃カメラを施行し、逆流性食道炎、びらん性胃炎の診断の為中止となり花粉エキスとの因果関係は認められない。他に特記すべき症状は現れなかったので安心して長期に服用できるサプリメントである。

平成 17 年 7 月 29 日